

新病院の特徴

(1) 救急医療の充実

ICU、HCU、NICUなどの集中治療室を含めた425床を整備し、年間14,000件の救急患者の受け入れを可能とする充実した救急診療体制を整え、24時間365日体制による「断らない救急」を目指す。

(2) 小児・周産期医療の充実

ア 小児医療の充実

小児地域医療センターの指定を取得し、24時間365日体制で小児二次救急医療を提供する。

イ 周産期医療の充実

地域周産期母子医療センターの指定を取得し、24時間365日体制で周産期医療を提供する。また、ハイリスク妊婦や低出生体重児、ハイリスク新生児への対応など高度な医療提供を行う。

(3) 診療機能の強化による地域完結型医療の提供

三田・北神地域における地域完結率を高めることを目指し、診療機能の強化を図る。

ア 心臓血管外科の新設

三田・北神地域にこれまでなかった心臓血管外科を新たに標ぼうし、一刻を争う心臓疾患発症後の迅速な治療と循環器内科を含む心臓センターの強化を目指す。

イ 脳神経外科の充実

他の医療機関との連携を図りながら、急性期医療機関として緊急手術への対応を含む総合的な診断・治療に対応し、地域完結率の向上を目指す。

ウ がん診療機能の強化

がん診療連携拠点病院の県指定取得を目指すとともに、腫瘍・血液内科を新たに標ぼうし、総合的ながん医療体制を構築する。

(4) 新興感染症への対応強化と安全安心で快適な療養環境の提供

原則全室個室とすることで、感染症の流行規模に合わせたゾーニングによる徹底した感染対策を施して安全な医療を提供するとともに、患者プライバシーが確保された安全で快適な療養環境を提供する。

(5) 災害医療への対応

災害拠点病院の施設基準に準ずる施設として十分なスペースと備蓄を確保し、駐車場ゾーンを利用した臨時のヘリコプター発着エリアや自家発電設備を整備する。また、行政や地域の医療機関と連携・協力を図り、周辺地域の傷病者の受け入れを行うことができる体制を整備する。

(6) 医療従事者にも選ばれる病院

診療機能の強化を図るとともに教育研修機能を充実させ、医療従事者にとっても魅力的で働きやすい病院を目指すことで、安定した医療提供体制を構築する。
